

2008.5.25(日) 読売新聞

我孫子市高野山の「我孫子市鳥の博物館」が近くの林に設置した巣箱でフクロウが産卵し、3羽のヒナが誕生した。同館では、フクロウが子育てする様子を小型カメラで撮影し、ホームページや同館内のモニター画面で生中継している。フクロウは夜行性で警戒心が強く、その生態はあまり知られていない。同館は、そんなフクロウの様子を多くの人に観察してもらえたらと、2006年10月から

## 子育て観察して ネット生中継で



子育てするフクロウと生まれて間もないヒナ（我孫子市鳥の博物館提供）

近くの林に、夜間撮影も可能な小型カメラ付きの巣箱を設置。今回初めて、産卵の様子をとらえるのに成功した。ヒナは、5月10日以降に誕生。ホームページでは、1・5秒に1コマの画像をつなげたほぼ同時進行の動画を24時間配信しており、白っぽい羽毛に覆われたヒナたちのかわいい姿を見ることが出来る。同館では、巣立ちを6月10日以降と見ている。